

下野コミュニティエフエム第9回放送番組審議会議事録

開催日時：2021年12月9日10時00分より	開催場所：下野市役所第304会議室
出席委員：猪瀬・小島・小谷野・鈴木・根橋・本橋	：6名

※発言については趣旨を変えない範囲で一部を省略・要約しています。

委員全7名のうち6名の出席をもって会の成立とし、10時00分に開会した。

※山内委員長が欠席のため小谷野委員に議事進行をお願いした。

1. 報告事項

・運営状況

事業者：

・10月30日と11月13日に市との連携で特別番組を実施した。10月30日は道の駅しもつけ、11月13日は天平の丘公園「夜明け前」の前で出張放送をそれぞれ生で2時間ずつ行った。道の駅は訪れた方に見ていただき良いPRになった。天平の丘公園もイベントが開かれて、天候にも恵まれて多くのご見学の方や番組へのメッセージをいただき好評のうちに終えた。

・他、通常の編成で日々滞りなく放送を行っているが、年末年始にあたり特番を組むなど、リスナーが楽しめる放送を引き続きしていきたい。

(ケーブルビジョン株式会社ラジオ事業部管理責任者)

2. 審議事項

・議題…番組内容について

事前に送付した資料(記録物)を各委員が聴取し、それに対して委員が意見を述べた。

※2021年11月12日放送「ゆうがおパラダイス」

小谷野委員：

番組について事業者から説明を。

事業者：

この「ゆうがおパラダイス」は、毎週月曜から金曜の19時から20時55分までの生放送。夜の時間なので、エンタテイメントなど若年層も意識しつつ、大人にも聴いていただけるようにしている。地域の情報だけでなく世間の流行の話題や音楽にもこだわってみたりのコネクトを設定している。月曜から金曜までパーソナリティが日替わりで務めているが、各パーソナリティの個性を全面に押し出してその良さを番組に活かしている。

この時間帯はテレビではゴールデンタイムと呼ばれるがラジオだと逆で、編成的としてどういう番組をやったらいいか難しい時間帯。そこにこの個性豊かなパーソナリティを配置して非常に好評をいただいている。

その中で今回審議対象にした金曜は、落ち着いた雰囲気やジャズや洋楽をかけたりと、若者より大人向けになっている。今FMでジャズをかけるのはNHKさんくらいで民放はあまりかけないのでそこも好評をいただいている。またパーソナリティも市民であるので、地域の深い情報なども入る2時間になっている。

小谷野委員：

パーソナリティの話し方も内容も、非常にゆったりしてすごく感じがいいなと思った。

根橋委員：

パーソナリティが市民の方と聞いて正直びっくりした。言葉がすごくはっきりしていて話題も非常に豊富だったので、プロの方かと思った。

リスナーのターゲットはどんな層か。

事業者：

この番組に限らず全体的には30～50代としているが、週末に向けた夜の時間帯なので、20代などの若い層にも聴いていただけるような構成としている。

根橋委員：

- ・音楽が洋楽やジャズが主体だったが、個人的にジャズに興味があるので私は聴いていて違和感なかったが、年代的にどうなのか。
- ・「ゆうパラニュース」と「ウィークエンドニュース」は雑学的には良かったと思うが、気になった点、マンションの販売状況や手芸店のイベントの話が出たが、これはCMではないのか。また、東京の美術館の情報や栃木のお酒を無料で送ってくれる話があったが、公共と民間の話題が混在しているのはどうなのか。スポンサーであれば問題ないと思うが。
- ・「今日この後11時55分からレコメンドサウンズ」というコメントが番組の終わりにあり音楽が紹介されていたが、これはこの番組とどう関係しているのか。広告のようなものが散りばめられているがどうなのか。

事業者：

- ・マンションや手芸店の話題は広告ではなくて、巷の話題というかたちで取り上げている。あくまで巷の話題なので、例えば一般企業のネガティブな話題も誹謗中傷しない範囲で、あえて取り上げる訳ではないが、話題として厭わない。広告ではないので良いことばかり取り上げている訳ではない。マンションに関しては地域の関心事ということで取り上げた。パーソナリティもほとんどが市民で関心があるようなので番組でも取り上げることはある。ただ、スポンサーではないので、宣伝にならない範囲で、また誹謗中傷にならないように気を付けながら、「どうなっているのかしら？」とご近所話的なノリで地域の話題として取り上げている。「あと〇戸残ってますのでぜひ」という意味合いでは決してない。
- ・「レコメンドサウンズ」は、22時と23時の各55分から、各パーソナリティが月替わりで音楽を選んで紹介している。この月はこのパーソナリティがたまたま担当していたので、「私が担当しているので聴いてくださいね」ということで他番組で告知をしたと思われる。他の番組も共通して担当しているパーソナリティが多いのでこういうことは良くある。

根橋委員：

- ・話題の件は理解したが、唐突もなく出てきているので違和感が正直あった。
- ・前回の審議でコロナ関連情報を9月から週1回程度速報しているとのことであったが、まさに今オミクロン株やワクチン3回接種や給付金をクーポンか現金とするしないなど、色々混乱している。そういう情報も時間を取って週1回でなくもっと頻繁に入れるべき。市ももっと協議してやらないと媒体の意味がない。市も情報を出したからいいではなく、使えるものはもっと積極的に使うべき。そうでないと困る。

事業者：

- ・コロナのワクチン接種率は週1回程度速報とあるが、放送は毎日・毎時間やっている。内容が週1回更新ということであり、市から情報を週1回いただいて各時間放送している。放送の頻度に関しては市と協議をさせていただきたい。他、色々な情報もなるべく早めに掴んで今後も入れていきたい。

小島委員：

パーソナリティが日替わりとのことだったが、例えば金曜の音楽はほとんどジャズだが、他の曜日はどのようにしているのか。

事業者：

パーソナリティと言っても一般市民で、大手局のように制作スタッフが番組についてということではできないので、番組内容に関してはパーソナリティに任せていることも多い。監督はしているが、話題や音楽に関してはパーソナリティの個性によるところが大きい。金曜のこの時間も、担当パーソナリティがたまたまジャズが好きで詳しいということで、結果的にこういった作りになっている。他の曜日も担当パーソナリティそれぞれの個性で話題や音楽の選択をしている。曜日によって演歌やアニメソングなど個性で散けている。担当パーソナリティの趣味だけでなく年齢によるところもあり、好き嫌いも出ると思うし、番組を全体的に監督しているだけで細かくどうしろと曜日毎に指示している訳ではないが、幅広く色分けがなされていると思っている。

小島委員：

- ・ターゲットは30～50代とのことだがジャズなら60～70代の人も聴いているのではないか。老人も聴いているのでご承知おきいただきたい。青春時代にジャズに親しんだ世代が今や60～80代になっているので、この点でも番組のレベルが高いと思う。若年層だけでなく、決して20代30代40代、中年層ではなく、高齢者層が結構聴いていたかなという感じがする。テレビ番組は最近飽きてきたので、静かにジャズを聴くというのも良いと思った。
- ・番組の最後の方、時間が押していたのか、曲の紹介などが早口になってしまっていた。最後まで丁寧をお願いしたい。

鈴木委員：

- ・番組の趣旨に沿った内容と思う。落ち着いた話しぶりで、聴きやすく、ちょうど良い。
- ・レジ周りのテーマなど、くすっと笑えてなかなか面白いところに目を付けるなどと思った。こういうのを企画していくのは大変なご苦労と感じた。地域の話題ももう少し欲しい。
- ・ただ、私も興味を持ったのはマンションの話題で、「私の個人的な興味ですけどね」とパーソナリティも言っていたが、あれだけ広告が入っているので私も興味があったもので。4000万円台という価格帯は、大手テレビ局が話題にしているマンションからすると半額。そういう意味で地域の話題としても面白い。しかしあの値段でも売れているということを強調していたので、庶民的な感覚も含めて話題にしたのかという感じもする。
- ・栃木のお酒の話題は、県の条例で酒造協会をバックアップするという趣旨だそうだが、送料無料だということ、予算は3200万円ということが紹介されていた。よく調べたと思う。ネット等で予算の情報は一切出てこなかった。
- ・酒造会社の紹介で外池(とのいけ)さんを紹介されたが、「そといけ」と言っていたので、そこは注意すべきであった。
- ・全体的には非常に面白い番組。選曲もクラシックなオールドジャズから最近の奏者まで、非常に広く関心のあるパーソナリティで、面白く興味深く聴いた。

事業者：

- ・酒造の名前を誤った点については、団体・人名は正確にと普段より指導してはいるが、それでも確認不足や読み違いがあるので、この番組に限らず今後一層注意をしていきたい。
- ・マンションに関しては地域の関心事ということで話題として取り上げたのではと思う。インターネットで全国で聴けるので、この下野市は環境も良く、これだけのマンションで東京の半額ですよというアピールにも凶らずもなっている。
- ・他の話題に関してもこの番組に限らず、地域情報を基本にパーソナリティの興味を含め、それがまた一つの個性になっているので、良い部分を活かしていきたい。
- ・音楽に関しても、この番組に限らずだが、時間帯や季節、番組コンセプトなどといった基本を踏まえ各パーソナリティが選んでいる。この番組もパーソナリティの趣味が基本で、特に指示をした訳ではないが、高い年代層を始め結果的に幅広く好評をいただいている。ジャズを知らない方にもジャズを知るきっかけになり、番組の特色になっていると考える。

猪瀬委員：

- ・ストレスなく聴けた。担当パーソナリティがプロでなく市民ということにびっくりした。大手局のアナウンサーにもひけをとらないと思う。金曜のこの時間帯にジャズがかかり、自分時間で酒なんか飲みながら聴くのが良いと感じた。
- ・番組の初めの辺りが早口で、声がBGMに消されてしまって聴こえない箇所があった。オープニングは初めの掴みのところだろうから音の強弱は少し考えた方が良いかと思う。

事業者：

パーソナリティも技術専門ではないので、未熟な部分はまだあることは正直否めない。これは私どもの指導不足もあり反省すべきところ。ただ、FM番組では一般的にBGMを高めにする傾向がありこれに倣っているところはあるが、声が聴こえないほどでは意味がないので、今後また改めて注意をしたい。

本橋委員：

- ・週末の休みの前にパーソナリティの話し方や選曲がゆったりしていながら軽快だった。「本当に皆さんおつかれさまでした」と、ゆっくり休んでくださいねというメッセージが伝わるような感じがした。
- ・フリートークで(ルイ)アームストロング氏の話があり、私も同氏を存じ上げていたが、番組でかかった曲を知らなかったので調べてみたところ、「ひなたの道」という題名で、NHKで今放送している連続ドラマのことがネットで多く出てきた。何かと調べてみたが、ドラマの主人公が訪れた喫茶店の中でこの曲が流れた、と話題になっているようだった。ドラマのその放送日がいつだったのかはわからないが、もしそのことがわかっていたら、そういったことも話していただけると内容が深まったのでは。

事業者：

その曲をかけた意図は判らないが、ドラマの放送前だったのかあえて触れなかったのか、説明があれば指摘の通り曲に関して一層わかったと思う。

※事務局注…パーソナリティはドラマのことは知らず番組でかけたのは全く偶然とのこと。

鈴木委員：

- ・放送法の話が以前出たが、放送事業者には放送の自由があるから番組を自由に作って良いのだろうが、番組基準や放送番組の編成基準というのがこの番組とどう関係するのか、また、番組編成基準は公表しなければならないと放送法にあるが、どうなっているのか。
- ・次の条項で放送番組審議機関つまり我々審議会のことだが、その審議基準や基本計画を策定・変更する場合には諮問しなければならない、とある。「ねばならない」という強い表現であるが、これら策定されているのかどうか。もししていないのなら大丈夫なのか。

事業者：

全て策定しているが、指摘の通り積極的に公表していない。要望があれば閲覧できるが、実質的に免許申請書類の一部というところ。細かく色々なことが書いてあるわけではない。

鈴木委員：

質問の趣旨としては、番組の基準や編成の基本計画というのがこの事業の根本になり、これに基づいてやっていると思う。ただ、この審議会では番組に関する審議をするとすると、審議の基準は何なのか、何を審議するのか。面白かったとか、個人の感想になってしまう。審議の基準があれば、方向性が見えてくるのではないかと思う。その番組が基準や計画に沿っているものなのかどうか、それぞれの番組に関する事業計画というのがあるだろう。それに基づいて我々が審議するのであれば審議の意味があるが、良い番組ですね、以外に言うことがない。なのでそんなところを基本に審議できたらと思った。

事業者：

編成に関しては時間帯によって番組の雰囲気やターゲットの年齢層などを決めてはいる。ただ、どちらかというと編成の基準というよりも運営上の仕様ということになるかと思う。何れにしても資料として見ていただくのがよろしいので、資料として次回に配布したい。

3. その他

事務局：

次回開催は2月10日木曜といたく、委員の都合を確認の上、改めて通知する。

以上で議事を終了し、11時30分に閉会した。

以上